



「体づくり運動」の研究授業について

6月26日(木)2校時に、6年2組で体育科「体づくり運動」の研究授業を行いました。高学年の「体づくり運動」は、「体ほぐしの運動」及び「体の動きを高める運動」で構成され、運動の楽しさや喜びを味わうとともに、中学年までに身に付けた体の基本的な動きを基に、体の様々な動きを高めるための運動です(小学習指導要領解説体育編より)。

今回は、子どもたち自身が、学校にある道具や器具を使ってコースを作り、それを互いが体験していくものです。「パルクール運動を体験して、自分の動きを高めよう」という単元名で子どもたちに意欲付けを図って学習を行いました。実際のパルクールは、街中を走ったり跳んだりするものですが、それほど強度の高い運動ではありません。むしろ、「巧みな動きを高めるための運動」としてタイミングやバランスよく動いたり、リズミカルに動いたり、力の入れ方を加減したりすることをねらいとして行いました。子どもたちは、タブレット端末を使って、動きを確認したり、直接友達にアドバイスをしたりしてよりよい動きを目指していました。



16号でもお伝えしましたが、今回の体育科の学習においても「教える授業」から「学ぶ授業」へ変えていくような取組を実践しました。今回の授業を基にして、さらなる改善点についても校内で協議をしました。このように教職員が研修を図りながら、よりよい授業になるよう努めています。



潮見校区を知るために(町探検:2年生)

本校では、「ふるさと潮見」を愛し、誇りに思える学びを重点目標の一つに掲げて教育活動を行っています。2年生は、先月、4つの通学路のコースを基にして、4日間に及ぶ町探検を行いました。今回は、校区にどんなものがあるのかを大まかに知ることがねらいです。通学路を通るときに見ている景色でも、意図をもって見直すと新たな発見があります。2学期には、校区内で関心のあるものをより深く調べていく予定です。



私も子どもの頃に通っていた通学路や遊んでいた公園の風景を今でも覚えています。潮見校区で関心のある場所、好きなところは、子どもたちにもきっとあるはずです。地域を知ることで、地域を好きになる潮見っ子を育てていきたいと思ひます。

